資料３）改定計画の骨格案「第１章　計画策定にあたって」

2022.2.17　第2回さっぽろヒグマ基本計画改定検討委員会

1　計画策定の背景と趣旨

(1) 背景

ヒグマとは（一般的な内容）

- ●北海道の豊かな自然を代表する野生動物、道民共有の財産
- ●1990年の春グマ駆除廃止以降、その後個体数は増加傾向

（札幌市を含む）全道的なヒグマ被害の増加

- ●道内で市街地出没事例が相次いで発生
  札幌市でも市街地・住宅街での出没・捕獲事例

(2) (仮称)さっぽろヒグマ基本計画2023策定の趣旨

現行計画策定の理由（趣旨）

「ヒグマ対策の手引き」（従前）

＋

市街地侵入抑制策

＝

ヒグマ対策の包括的な計画

・ヒグマ生息域の区（6区）を対象
・2017年3月策定

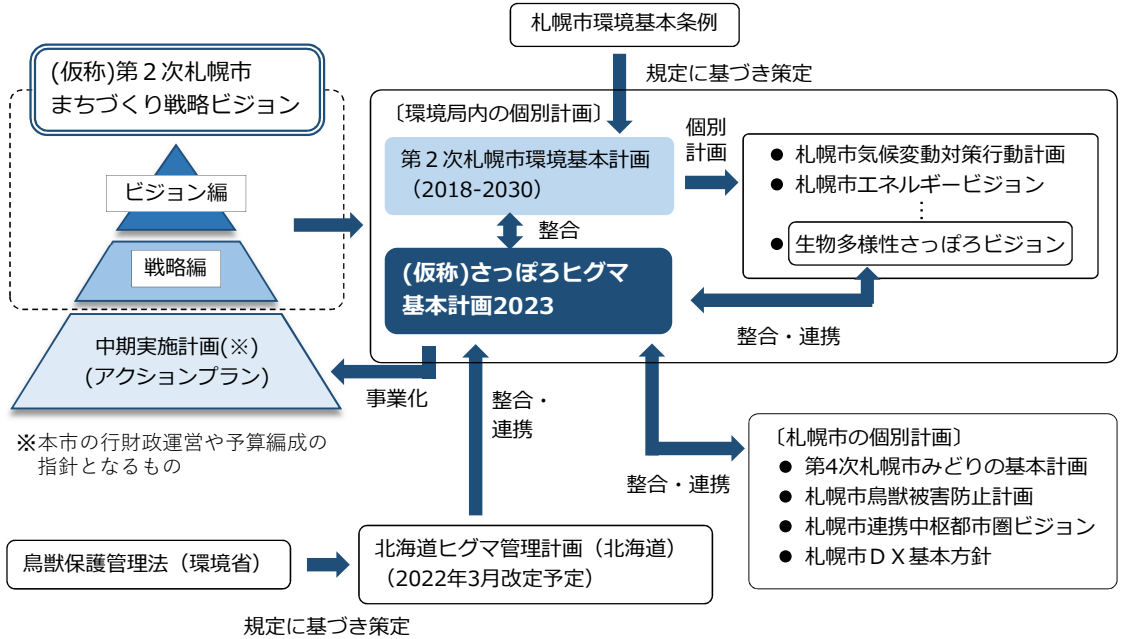
計画策定後の動き

- ①ヒグマ生息域以外の区でも出没
- ②市街地に毎年出没、捕獲事例も
- ③2021年6月東区事案、人身被害発生
- ④北海道ヒグマ管理計画の改定

改定理由

- ●ヒグマ生息区だけでなく全市的な計画に
- ●施策強化のため、中長期的視点での計画が必要
- ●計画遂行のため、指標設定・各主体の役割・具体的取組の記載

2　位置づけ

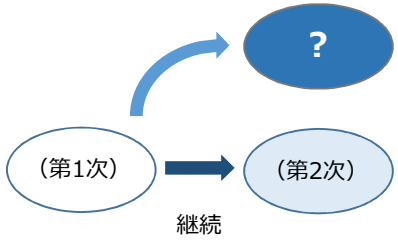


3　計画期間

2023年4月～2028年3月【2027年度末】（5年間）

- ・中長期的な視点で目指す姿（ビジョン・将来像）を設定したい
- ・次期まちづくり戦略ビジョンは2022～2031年度の10年間
- ・北海道の管理計画は５年間
- ・取組の進捗や社会情勢の変化、北海道の計画との整合など踏まえ適宜改正

【計画の名称】



- ●「現行計画からの継続」というより、
  現行から行政の計画として一段階レベルアップ
  させ、新たに策定するというイメージ

現行

「さっぽろヒグマ基本計画～ヒグマ被害防止と共存」

改定後

「さっぽろヒグマ基本計画2023」　で仮置き